

**Lovejoy を追いかけてジブシー 今更ながら空の暗さについて**

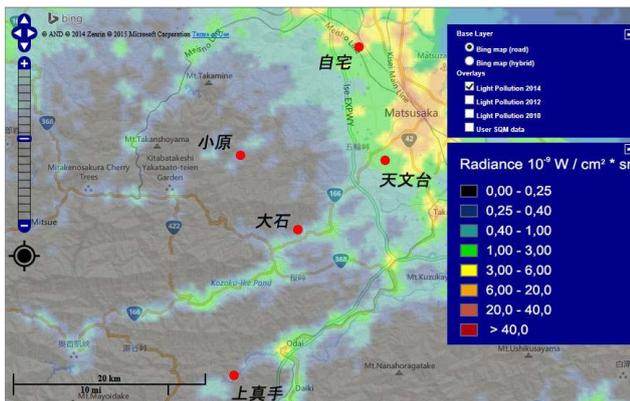
大方の期待に違わず、ラブジョイ彗星は立派な彗星になって、とても楽しむことができました。(決して過去形ということではないのですが、とりえず一段落しているのです)

なんといっても、彗星が衝の位置から西側、それも天頂付近に見えたということで、宵の時刻に観測に行けるため、サラリーマンにとって優しい彗星でありました

それでも平日となると行動範囲は限られるわけで、加えて、知らない場所でのリスクは負いたくないので、結局、その日の状況(帰宅時刻、次の日の仕事の内容等)に合わせて適当な距離の馴染みの観測スポットに向かいました。

先日、空の暗さのインデックスを紹介するウェブサイトをつ T 氏が紹介してくれたのですが、その画面と今回出かけたスポットを落とし込むと次のようになります。

<http://www.lightpollutionmap.info>



今回は、天文台と大台町上真手及び小原で撮影したのですが、今更ながら、彗星の尾を撮るなら暗いところへ行かなければいけないということを再認識させられました。はっきり言って、大台町上真手以外で撮影した写真はゴミと化しました。もっとも、ダークやフラットをしっかりと撮影して、微妙な諧調を浮かび上がらせるテクニックがあれば、救いようがあるのかも知れませんが、残念ながらまだまだ修行が足りないのです、そこは足で稼ぐということです。

今回好成績となった大台町のスポットは、自宅から片道 35 分、高速料金 890 円×2 であります。

それでも、この観測スポットは、もっと高いところから見下ろすと薄霧が覆っていますし、自動車のヘッドライトも気になるので、もう少しロケハンをして、無理に足を伸ばさない範囲でベストスポットを捜したほうが良いのかなあ、とも思っています。来る大彗星のために、下見をしなくては。



1月13日 NikonD5100 35mmF2.8 3min\*4

今回の彗星は、冬の星座の有名どころを通ったため、空の名所がいくつもあり、広角から長焦点まで、どんなレンズでも楽しめる被写体でありました。

平日のわずかな撮影タイムでは、いろいろなレンズを使うので、全然時間が足りませんでした。



1月20日 NikonD5100 105mmF3.5 2min\*4

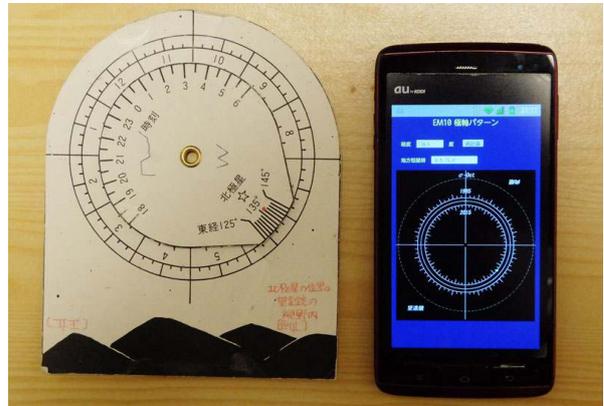
## メカが大好き 極軸パターンを調べるページ

<http://homepage3.nifty.com/kzwada/software/script/pstar.html>

野外観測の際に、観測地で赤道儀を組み立てて極軸をあわせるとき、TakahashiのEM10の場合は、あらかじめ付属の早見盤を使って極軸パターンのどの位置に北極星があるのか調べます。早見盤を使うのはもういつもの習慣となっていますが、ガラケーの時代から、アプリで簡単に調べることができたらいいな、と漠然と考えていました。

先日ふと思いついて、HTMLベースで試作してみたところ、安直に結構使い物になるものができてしまいました。なんで今までこの方法を使わなかったのかというと、観測場所は必ずしもケータイの電波が届くところとは限らないという先入観があったからなのですが、そんな山奥に出かけることは実際のところはそれほどありません。

私の Web サイトに載せているので、興味があったら使ってみてください。でも、機種依存があるかもしれないので、外れたらごめんなさい。



## Books & CDs 衝突する宇宙/イマヌエル・ヴェリコフスキー

この本の名前は、昔になんとか見た覚えがあるのだけれど、実際に手に取ることはありませんでした。先日図書館で再販されているのを発見し、早速に借りてきました。

しかし、はっきり言って訳のわからん本であります。作者自身が思い描く天地創造の歴史を、旧約聖書を始め世界各地の古典的な伝承などを引用しながら、なかば強引に紡いでいくといった感じで、特に聖書の物語に馴染みがない私などにとっては、読み進むのがつらい感じです。

ただ、徐々にホロコーストに向かっていく緊迫感など、割り切ってしまうと、それはそれで楽しめるのかもしれませんが。でも、最後まで到達する自信はないです。

それでも紹介したのは、この本が、かの故 JP ホーガン氏の「揺籃の星」と「黎明の星」のベースとなった物語であるからです。こちらのほうは、3部作の最後の1冊が刊行されないまま作者がお亡くなりになってしまったので、どうい

結末を迎えるのか、もうわかりません。

舞台設定はまったく違うものの、「衝突する宇宙」のほうを読めば、完結しなかった物語の最後がかいまみえるのではないかなあ・・・と思ったのですが、残念ながらこちらのほうも望み薄でありました。

ということで、お勧めしない1冊です。



## 編集雑記

先日にパワーストーンを売っているお店の前をとおりがかったら、蛍石(フローライト)の原石が並んでいるのを見つけました。常々、フローライトの蛍光を見てみたいと思っていて、肝心の「石」をどうやって手に入れようかとヤフオクを見ていたりしていたところだったので、値段も手ごろなところで1個買うことにしました。レジへ持っていくと、売子のお姉さんが「巾着に入れて持ち歩くと効果が高いです」とか「1つお作りしましょうか」と勧められました。でも、そもそも目的が違います。そういえばアンモナイトも売ってました。パワーストーンのお店で岩石採集、結構面白いです。



紫外線ライトをあてた蛍石